

投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)の状況について

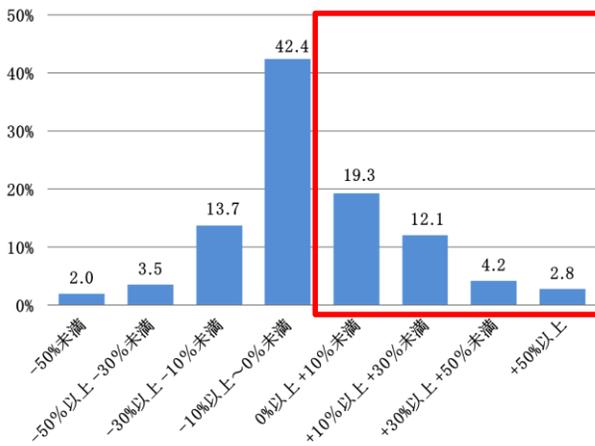
当行では、当行グループの「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づいた取組み状況を年2回(3月末/9月末基準)公表しております。取組み状況の成果指標の一つである「投資信託の運用損益別顧客比率」について2019年12月末時点の状況をお知らせいたします。

<運用損益別顧客比率>

2019年12月末における運用損益がプラスのお客さまの割合は、63.6%に改善しております。

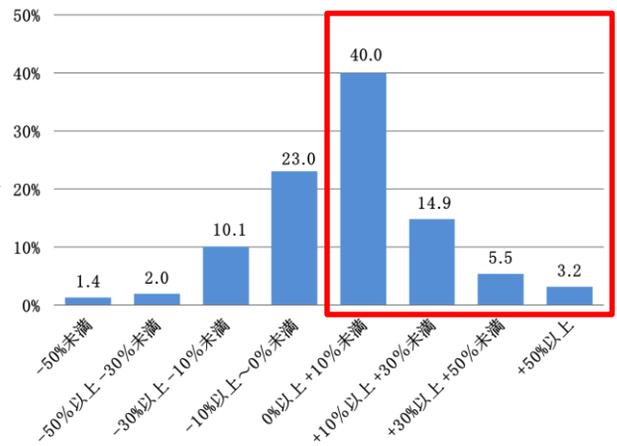
運用損益別顧客比率(2019年9月末時点)

38.3%



運用損益別顧客比率(2019年12月末時点)

63.6%

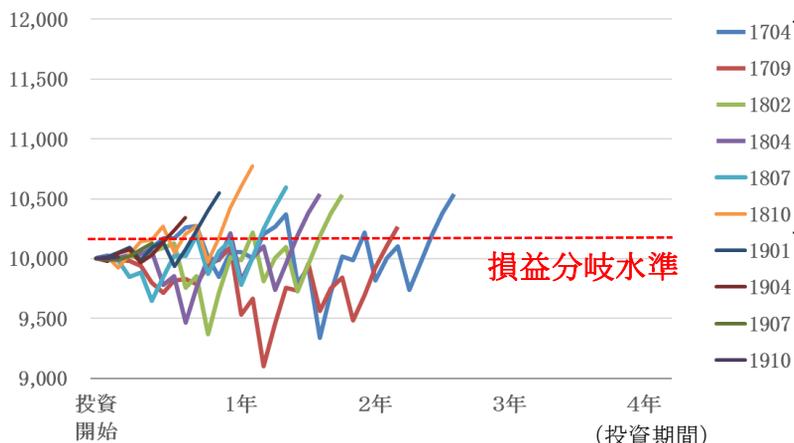


<ぜんぞうシリーズの運用状況について>

- 当行では、お客さまの中長期的な資産形成に資する商品として、比較的风险が低い商品や複数の資産に分散して投資する商品等の中から、特に中長期投資に適した商品をコアファンドと定義し、お客さまの中長期的な資産形成にお役に立つ商品として取り扱いをしております。
- コアファンドの中心となる「ぜんぞうシリーズ」は、世界の株式を段階的に買付けすることで投資対象と時間の分散を図り、徐々にリターンを得ることを特徴とする商品です。
- 2019年12月末時点において、「ぜんぞうシリーズ」の特徴である投資・時間分散の効果により、漸増期間(株式の組入比率を段階的に引き上げる期間)を満了したファンドの運用成果は、損益分岐水準を上回っております。(下記グラフ『現在取り扱いの「ぜんぞうシリーズ」』をご参照下さい。)
- 上記の結果により、運用損益別顧客比率が改善いたしました。

現在取り扱いの「ぜんぞうシリーズ」

(基準価額)



※ 漸増期間を満了したファンド